

いろいろ火の里 
みかわ

ウェルネス学童クラブみかわ

ぞかい

いっしょに
きまそうす！！

議員紹介

クーポン券発行

財政の健全化を

大雨被害に支援を

奉仕活動で生きがいづくり

新たな風を巻き起こす

3月定例会・臨時会

令和7年度予算審査

一般質問

シリーズ③「がんばってます」
横山寿会

P 2～3

P 4～5

P 6～7

P 8～15

P 16

No.169
3月議会
2025.
4.15

民の声に応える身近な議会へ

三川町議会議員の素顔に迫る

2月27日、改選後初めての議会臨時会が開催され、議長に町野昌弘（成田新田）、副議長に鈴木重行（猪子）を選任し、常任委員会委員の選任等議会構成が決定しました。

① 趣味 ② 最近、感動したこと

議長就任のあいさつ



町野 昌弘 議員

この度の議会改選で議長に就任いたしました町野です。

三川町は豊かな自然と温かい地域の絆に支えられ発展を続けていますが、少子高齢化や地域公共交通、災害や防犯と町政が取り組まなければならない課題は多くあります。

議会は町長（執行部）と一緒にたつて問題解決に取り組まなければならないと思っています。

議長はその議論の場所を作っていくのが務めだと考えています。

今回の定例会からは新しい議員も加わり、これまでとは違った角度からの意見が出て、活発な議論が交わされました。

議長として、まだまだ未熟ですが、これからも建設的な議論を議会で行えるように一生懸命努めますので、みなさんからの議会へのご指導よろしくお願ひ申し上げます。

① 音楽鑑賞（80年代の歌謡曲をレコードで聞く。桜田淳子等）
② 小学生が横断歩道を渡り切った後、こっち向きを交えてお辞儀をしてくれたこと。



鈴木 重行 議員

副議長として、議員それぞれの意見を尊重し、議長を支え公正かつ円滑な議会運営に努めてまいります。

皆様の声、地域の実情を誠実に受け止め、安心して暮らせるまちづくりに取り組む所存ですので、今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

① 日帰り温泉巡り
② 選抜高校野球



志田 徳久 議員

このたびの議会議員選挙に於いて、再選となりました。

① 邦画映画（時代劇）鑑賞
② 子どもたちが、働いている人に「ご苦労様です」と声掛けをしたこと。



小林 茂吉 議員

皆様との意思疎通を図り、町民の幸せを最優先に謙虚な姿勢で「聞く」「動く」を実行します。引き続き、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

① 自家菜園、スポーツ観戦
② 合併70周年記念事業で多くの皆さんとお会いできたこと。

議会構成

議長

町野 昌弘

副議長

鈴木 重行

「常任委員会」

総務文教常任委員会

◎ 鈴木 淳士

◎ 土田 市子

町野昌弘、鈴木重行

志田徳久、小林茂吉

佐久間千佳、砂田茂

小野寺正樹、佐竹優子

産業建設厚生常任委員会

◎ 小野寺 正樹

◎ 佐竹 優子

町野昌弘、鈴木重行

志田徳久、小林茂吉

佐久間千佳、鈴木淳士

砂田茂、土田市子

広報常任委員会

◎ 砂田 茂

◎ 鈴木 重行

鈴木淳士、小野寺正樹

土田市子、佐竹優子

多様な視点で、町政を推進!町

個性豊かな新たな顔ぶれ

選挙運動期間の五日間は、朝から晩まで電話を掛け続け、ご無沙汰して



鈴木 淳士 議員

①キンボール：毎年の如くみかわスポーツクラブの大会へ出場！
②あさ子ばっちゃん（母方の祖母）が100歳になったこと。いつまでも元気で長生きしてね。



佐久間千佳 議員

①モトクロス（休止中。今は観戦だけ）。
②ひきこもりゼロを実現した町（NHK新プロジェクトX）

自立した町づくりを進めてきた三川町がさらに発展していくよう、日々勉強に努め「みんなの声を町政に」を中心に据えて活動していきたいと思っています。



砂田 茂 議員

①音楽感傷。
②某菓子店の「あんぱん」は、相変わらず美味い。

いた皆様方とも親しくお話することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。引き続き、みなさんと共に「協働の町づくり」に尽力いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

別世界へ飛び込み、一喜一憂しております。「誰もが解りやすく、町民が主役の町政を」と思っております。一町民としての目線で発信してまいります。



土田 市子 議員

①日本海の大草原で大物を釣り上げること（笑）
②母校の校歌を歌詞を見ないで歌えたこと。

この度の選挙では皆さまから温かい応援をいただきました。



小野寺正樹 議員

①着物、文化筆、フェス
②初の選挙で温かな励ましの声に最終日ボロ泣き！

地域の方々の皆さまの御声に寄り添いながら、ともに課題解決に向け取り組みます。



佐竹 優子 議員

新たな風を巻き起こし三川町、上昇気流に乗りましょう。今後共よろしくお願いいたします。

①メダカの飼育・サウナ
②空の赤と山の紺の狭間に沈んでいく夕日を見た事。

◎委員長 ○副委員長

「二部事務組合」
庄内広域行政組合議会
町 野 昌 弘

土地開発公社理事
小野寺 正 樹
土 田 市 子

「各種委員会委員」
都市計画審議会委員
砂 田 茂
佐 竹 優 子

議会選出監査委員
佐久間 千 佳

議会運営委員会
◎志 田 徳 久
○砂 田 茂
小 林 茂 吉
鈴 木 淳 士
小野寺 正 樹

クーポン券配布

3月 定例会

第2回議会定例会は3月10日から19日までの会期で開会しました。

諸般報告2件の後、町長より「施政方針」、教育委員会・農業委員会から「行政方針」が示され、令和6年度補正予算5件、令和7年度予算5件、条例改正8件、事件案件3件、人事案件5件、議員発議1件、議長発議1件、委員会発議4件を可決しました。

一般質問は、7人の議員が町政全般について質問しました。

補正予算

一般会計

1億621万4千円を増額し、58億1797万9千円となりました。

(主な内容と質疑)

●物価高騰家計応援クーポン券発行事業に5182万5千円計上

問 クーポン券発行事業の内容は

産業振興課長 町民一人当たり7000円分のクーポン券発行を見込んでいます。

●新型コロナウイルス予防接種対策事業1090万円減額

問 減額要因は。

健康福祉課長 接種率64%を見込んでいましたが、20%台にとどまったためです。

●保育費、保育委託料2369万5千円増額

問 増額要因は。

子育て支援室長 公定価格の改定と町外の民間保育園に通う子供が増えたためです。

●排水機場管理委託料に265万3千円増額

問 増額要因は。

産業振興課長 昨年7月の豪雨と8・9月の大雨による排水機場稼働によるものです。

●子育て支援医療給付金に505万7千円増額



見 本

●低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業173万3千円計上

●道路舗装事業1624万5千円計上

●三川町ふるさと応援寄附金推進事業に6134万5千円を増額

問 寄附金が増えた要因は。

産業振興課長 全国的な米不足により、米の返礼品需要が増えたためです。

問 米不足の中、米の返礼品事業者の状況は。

産業振興課長 米の調達ができず、サイトを中止している返礼品事業者が複数います。



臨時会

2月27日に改選後初めての議会臨時会が開催されました。

三川町議会の構成が決定され、その後令和6年度補正予算の専決処分2件が承認されました。

専決処分

一般会計補正予算

(主な内容と質疑)

●三川町ふるさと応援寄附金推進事業に6134万5千円を増額

問 寄附金が増えた要因は。

産業振興課長 全国的な米不足により、米の返礼品需要が増えたためです。

問 米不足の中、米の返礼品事業者の状況は。

産業振興課長 米の調達ができず、サイトを中止している返礼品事業者が複数います。

●住民税非課税世帯給付金給付事業に1871万3千円を計上

問 給付対象者は。

健康福祉課長 令和6年12月13日時点で住民税均等割が非課税となっていた世帯です。



物価高騰対策

条例

(主なもの)

◎三川町犯罪被害者等支援条例の設定について

目的：犯罪被害者等が受けた被害の早期の回復または軽減に向けた取り組みを推進し、犯罪被害者等を支える地域社会の形成を図る。

総合支援窓口の設置

見舞金の支給

遺族見舞金：30万円

障害見舞金：10万円

町民等、事業者：犯罪被害者等が平穏な生活を取り戻し、安心して生活ができるようになるため、町民等へ理解と協力をお願いするとともに、事業者に就労を継続できるように、就労内容や勤務体制等の配慮をお願いする。

◎三川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額

を65万円から66万円に、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を24万円から26万円に引き上げる。

◎三川町消防団条例の一部を改正する条例の制定について

消防団員の定数を「300人」から「250人」に改正
団員の住所要件を「本町に居住又は勤務するもの」に改正



読者の窓

議会広報誌のよく読むページや気になる取り組みはありますか？

小学生及び中学生との議場懇談会や町内の団体紹介です。

より読みやすい、手に取りやすい広報誌にするためにはどのような取り組みが良いかアドバイスをお聞かせください。

できるだけむずかしい言葉を避け、小学生でもわかるように文字よりも写真・イラストなどを多く使ってほしい。

今後、議会広報誌に取り上げた方がよいと思われる事項があればお聞かせください。

町民でボランティア活動をしている女性や女性団体を取り上げてほしいです。

議会への要望等あればお聞かせください。

町民のいろいろな意見を聞いて議会活動に反映して下さい。これからがんばってください。



成田ひとみさん
(猪子)

3月定例会の議決状況（全会一致を除く）

○は賛成、×は反対、議長は賛否に加わらない

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
議員名	志田徳久	鈴木淳士	小林茂吉	土田市子	小野寺正樹	佐久間千佳	砂田茂	佐竹優子	鈴木重行
議案									
議第19号 三川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	×	○	○

反対討論

砂田 茂議員

国保加入者の負担を軽減するためには、公費負担を増やし国保の構造的問題を解決するべきであり、そのためにも地方議会でも声を上げることは重要な意味があると考えます。このようなことから反対します。

人事案件

副町長

佐藤 亮（加沼）

三川町監査委員

黒田 浩（横川）

三川町教育委員会委員

梅津 道代（上町）

三川町固定資産評価審査委員会委員

佐藤 由一（土口）

小川 浩幸（青山）

人権擁護委員候補者

佐藤 功夫（天神堂）

議会費
7221万(1.1%増)
総務費
8億7497万円
(14%増)



結婚推進事業

問 結婚に対して、当事者があと一歩踏み出せず、申し込みが伸びていないようですが今後の推進策は。

企画調整課

個人情報などで踏み込めない部分がありますが、AIマッチングシステム等の推進や「やまがた縁結びたい」など地域の協力員を呼びかけ推進していきます。

地域公共交通推進事業

問 移動手段として路線バスの必要性は認識していますが、歳出の額も大きく事業者側に一層の経営改善を求めています。

企画調整課

鶴岡・酒田間の移動交通網としては必要不可欠であり今後も事業者側と協議していき

委員会

成され、委員を選り可決

3月
13・17日



鈴木重行委員長

**金調整給付事業費と
備事業負担金などにより**

9.2%増の

200万円

については、これからの課題として捉えていきたいと思っています。
犯罪被害者等見舞金
問 見舞金30万円を当初予算に計上することは不謹慎であり、被害発生時の緊急的補正予算対応で十分なのでは。
総務課 犯罪被害者等支援条例のみとしている自治体もありますが、予算計上を同時に実施している自治体を参考にして計上しました。
物価高騰対応重点支援金調整給付事業
問 クーポン券の配布時期と配布額について
産業振興課 1人700



0円分とし、配布時期に関しては関係機関と調整し、なるべく早い時期に配布したいと考えています。

労働費
498万(12.4%増)
農林水産業費
4億808万円
(8.3%減)
商工費
4億3886万円
(13.3%増)



新農業所得構造改革推進事業

問 水田の水張り問題での連作障害回避に資するバイオ資材への補助は。

産業振興課

水張り問題に関して、まだ正式決定していませんが、状況に応じて農業者とも相談し、検討していきます。

問 水稲の紋枯れ病に対しての支援策は。

産業振興課

昨年の水害により多くの水田で紋枯れ病が発生した対応策としての支援であり、薬に対して3分の1、(10アール上限で1000円)の費用助成を考えています。

問 ふるさと応援寄付金のPR活動については。



産業振興課 これまで広報はポータルサイト上がメインでしたが、7年度はふるさと納税イベントへ職員を派遣し、ブース出展の予算を計上しています。
返礼品のお米の食べ比べなど対面で魅力を発信できればと検討しています。

生活支援事業

問 独居高齢者宅の緊急通報システムについて、今後の潜在ニーズが増えることへの対応は。

健康福祉課 今後も対策を継続し、様々な機器が進化していることもあり、アンテナを高くして対応に努めていきます。

不妊治療費給付事業

問 不妊治療給付の対象範囲と、県の助成事業との関係性は。

健康福祉課 令和4年よりタイミング法や体外受精などの一般不妊治療も医療保険適用の対象になっていますので、町では県の助成に対して上乗せの形で助成を行っています。

民生費

15億8366万円
(6.6%増)

衛生費

1億9196万円
(8.4%減)

教育費

4億7880万円
(6.7%増)



問 高齢者に対する「带状疱疹予防接種」事業の実施方針は。

健康福祉課 65歳から5歳毎の方を対象に助成します。

自殺対策事業費

問 自殺対策事業費は予算計上されていますが、ひきこもり対策は。

健康福祉課 予算計上はありませんがひきこもりの状況は、民生児童委員からの報告により把握に努めています。

また、山形県社会福祉協議会と連携し、相談会

予算審査特別委

この委員会は、議長を除く9人の議員で構成委員長に鈴木重行委員、副委員長に鈴木淳士出し審査を行い、令和7年度予算を原案のとすべきものとなりました。

物価高騰対応重点支援 みかわ産業団地道路整

令和7年度 一般会計

54億6

を実施しています。

予防費

問 インフルエンザ予防接種事業で、子どもは年2回接種ですがその対応は。

健康福祉課 2回の生後6ヶ月～13歳までの717人・1回の14～18歳までの381人・妊婦30人を助成対象者とします。

子育て支援センター事業

問 子育て支援センターの利用状況は。

子育て支援室 令和7年2月末で2万7392人です。その内、町内が5817人の21・2%、町外が2万1575人です。

問 町民の利用増進対策は。

子育て支援室 第2、第4土曜日の午前中は「みかわんデー」として町民の方を優先した利用日を設けていますが、状況を精査し検討していきます。

学童保育支援事業

問 新たな学童保育所が、小学校から離れたところに開所される理由は。

土木費

5億6095万円
(38.5%増)

消防費

3億4490万円
(32.9%増)



子育て支援室

タイケン

福祉会という事業者が建てていますが、農地転用の縛りや、バスが入れるだけの敷地を用意できる場所が小学校近くになかったために、現在の所を選択したと聞いています。

学校給食費

問 学校給食の米の確保

と品質は。

教育課 三川産米が供給され、量の確保は、県の学校給食会と全農から確認できています。

問 みかわ産業団地は鶴岡市の新工業団地と競合し進出企業も減少していることから、産業団地の道路整備は、進出企業の意向を基に整備する方が有効では。

町長 当初7社の進出希望が3社に減少したものの、みかわ産業団地の立地的優位性は変わりません。

事業者は、道路など完備した状態を望む傾向にあり、事前の道路整備は必要と考えています。

町政を問う

3月定例会

一般質問



一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

3月10日と12日に7人の議員が以下の項目について質問しました。

●の内容を掲載しています。

小野寺 正樹 議員 (9ページ)

- 大雨被害に対する独自支援策を
- 土口地内の子どもにスクールバスを
- 畑作物地形成促進事業について

小林 茂吉 議員 (10ページ)

- 職員の育成と人材確保は
- 空き家の抑制対策と現状把握について
- 三川町官民データ活用推進計画について

砂田 茂 議員 (11ページ)

- 国保税均等割の負担軽減を
- 給付型奨学金も考えて
- 不登校対策について

志田 徳久 議員 (12ページ)

- 「なかなか三川町」の活用は
- 冬期間の交通確保対策は

鈴木 淳士 議員 (13ページ)

- 公民館ホールの問題を解決すべき
- 協働のまちづくり条例を

佐久間 千佳 議員 (14ページ)

- コンソーシアムの立ち上げを
- 賑わいの創造を

鈴木 重行 議員 (15ページ)

- 米不足？ 6年度の米生産は
- 投票率向上策を



議会ホームページは
こちらから
(音声配信中)

(8) 15ページまとめ 小野寺 正樹・土田 市子

大雨被害に対する独自の支援策を

町長 水稻の紋枯れ病予防に支援



おのの まさき
小野寺 正樹 議員

問

昨年の大雨による農業被害の状況は。

町長 昨年の7月の大雨では、庄内、最上地域で死者が発生するなど、大きな爪痕を残しました。



補償対象にならない全滅のコーン畑

本町においては、2千haの水田がほぼ全域で浸水等の被害があったほか、大豆、ネギ、枝豆、スイートコーン等の畑作物でも、約22ha、7300万円を超える大きな被害が発生しました。

問

独自の支援策など令和7年度予算に反映されているのか。

町長

災害発生後、各家から災害の報告を受け、県と連動した支援策について情報提供を

害が発生しました。

行いました。

また、令和7年度予算では、水害で長時間浸水した水田において、広範囲に紋枯れ病の発生が確認されたことから、薬剤散布に対する補助金を計上しました。

土口地内の子どもにもスクールバスを

問

冬期間、土口地内の子どもは県道を歩いて通学する姿を目にしますが、危険防止のための対策を考えるべきでは。

教育長

通学の基本的な考え方としては、児童のたくましい心身を養う観点からも、徒歩通学を基本としています。

教育長

町が定める片道3kmの通学距離に満たないことから、冬期間

狭く、交通量も多いので、危険通学路の対象にするべきでは。

問

距離基準を見直しては。

教育長

土口地内をバス通学の対象にするには、現在の距離基準を見直す必要があり、他の地域も含め、乗車人数が大幅に増えることとなり、運行車両や運転手の確保など様々な課題があることから、現行の通学方針の変更は難しいものと考えています。

問

土口までの県道は他地域より歩道も

実施しています。しかしながら、通学距離の長い地域や町内会の地理的条件、気象条件を考慮し、さらに一人下校への安全対策などから、一部の地域でバス通学を実施しています。



交通量の多い土口までの県道

職員の育成と人材確保は

町長 求められる職員像を示す



こばやし しげよし
小林 茂吉 議員

問

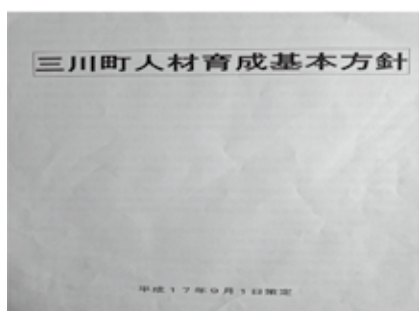
三川町人材育成基本方針では、新たな環境に対応できる人材を計画的に育成していくことが急務不可欠とあるが、具体的な育成の手法は。

町長

職員の自発的な学習の支援や、学習しやすい職場環境を推進するとともに、職員個人の成長や能力の向上を図る為に、獲得した知識や技能を実際に業務に生かすことができる人事管理に努めます。

問

生産年齢人口の減少、DX社会の進展により、社会を取り巻く状況が大きく変化する中、優秀な人材を確保す



るには、地方公共団体の職員として働く魅力を広く情報発信すべきでは。

町長

高校生や大学生のインターンシップの受け入れ、SNSでの周知、地域の高校や大学への試験案内の配布、町



自発的にスキルアップを図る自己啓発

問

内商業施設での広報など、受験者数の増加につながる取り組みを続けます。全ての職員が仕事と生活の調和を図り、両立しているワーク・ライフ・バランスを保ちながら、能力を最大限発揮できる職場環境の整備は。

町長

長時間労働の是正や、柔軟な働き方の実現のほか、性別にかかわらず、仕事と家庭の両立を図ることができるよう、休業・休暇の取得の促進に努めます。

問

点在する空き家と「美しいまち三川をつくる環境条例」の関連は

空き家問題は、いわゆる右肩下がり

の人口構造の変化に伴い、急速に顕在化した深刻な社会問題であり、これから先も、発生数の増加と深刻さは深まると思われます。住まい、敷地の管理不全が続いていけば、自ずと三川の景観が損ねられていき、環境条例は忘れられます。現状認識は。

町長

空き家の解体費用の補助や、空き家



管理不全の空き家

バンク登録制度等により支援策を講じてきましたが、現在居住している建物を所有者不明の空き家にしない、または、空き家になる場合であっても適正に管理されるよう、ご家族などで十分に話し合っていたことが重要であると認識します。また、「美しいまち三川をつくる環境条例」の理念は空き家対策に通じるものと捉えております。

国保税均等割の負担軽減を

町長 国、県の方針に従う



すなだ 砂田
しげる 茂 議員

問 国民健康保険税の
収納状況から見え
る課題とその対応は。

町長 本町の収納率は、
97%から98%台で
推移し山形県国民健康保
険運営方針に掲げられた
目標率を上回り、県内で

も上位に位置しているの
で制度運営上の大きな課
題にはなっていないと考
えています。

問 子どもの数が多い
ほど重くなる均等
割の負担を軽減する考
えは。



子どもが多いとたいへん

町長 国の基準に基づき、
所得と加入者数に
応じた軽減策を講じてい
るほか、未就学児にかか
る均等割の5割を軽減す
るなど、子育て世帯の経
済的負担の軽減も図って
います。

引き続き国、山形県国
民健康保険運営方針に

従って対応していきます。
問 国に対して国庫負
担の増額を要望す
る考えは。

町長 高齢化の進行、2
025年問題とい
う点でも社会保障はしつ
かりと対応してもらうよ
う働きかけていく考えで
す。

給付型奨学金も考えて

問 育英奨学資金制度
の考え方は。

教育長 学習意欲が高く、
学業優秀であつても経
済的な理由で学費を
賄うことが困難な学生に
対し、支援する制度です。

問 海外の大学に進学
する際も貸付けの
対象にしては。

教育課長 条例により海外
の大学進学は対
象外となっています。日
本学生支援機構や民間で
貸し付けを行う制度があ
ります。

問 三川町育英奨学資
金貸付規則で、家

族などの連帯保証人が必
要とされる理由は。

教育長 万が一、奨学金の
償還が滞った場合

に本人に代わって償還す
る義務を負ってもらう必
要があるためです。

問 奨学金の返済に不
安を抱かないよう
給付型を検討する考えは。

教育長 卒業後の償還金を
基金に積み立て運
営しているこの事業を、
今後も進学等を目指す多
くの学生から活用しても
らうには、原資となる資
金の確保が必要のため給
付型は考えていません。



奨学金の返済に不安が

「なかなか三川町」の活用は

町長 庄内地域の高校2年生に配布



とくひさ 議員
しだ 志田

問

地域の活性化のためにも若い人たちが三川町に誇りをもち、将来、故郷に住むように三川町70周年記念ガイドブック「なかなか三川町」を高校生が卒業する際に贈呈すべきでは。

町長

今回作成したガイドブックの部数は1万5千部であり、町内全戸に配布したほか、町内外の公共施設や観光施設、首都圏などにも置いて自由に持ち帰ることができるよう対応する予定です。

また3月下旬に庄内地域の高校2年生にも配布を計画しています。

問

毎年8月に行っている「二十歳のつどい」でも配布すべきではない。

企画調整課長

配布を検討します。



70周年記念ガイドブック

冬期間の

交通確保対策は

問

冬期間の交通確保のためにも町道等に防雪柵が必要ですが設置計画は。

町長

冬期間の交通確保は町民の生活維持に欠かすことのできない重要な行政サービスのひとつでありますが、近年の温暖化による暖冬、小雪傾向を踏まえると、防雪柵の必要性については、そのコストも踏まえ慎重



冬期間の交通確保がむずかしい町道

に検討する必要があると認識しています。

問

吹雪時、町の中央に買い物へ行く時の対応は。

建設環境課長

吹雪は気温2度以下、風速8m以上で発生しやすいので、条件を考慮しながら県道の交差点等は山形県と連携して除雪をしています。豪雪時、最低でも集落

の一路線は通行出来るようにしています。

問

除雪した雪の固まりに風が吹いて吹き溜まりになる時がありますがその対応は。

建設環境課長

除雪を行なう場合は、風下に排除するようにしていますが、吹雪時には、無理な車の運転は控えてほしいと考えています。

公民館ホールの問題を解決すべき

町長 いずれ調査すべきと考えている



すずき じゅんし
鈴木 淳士 議員

問 有害なアスベストを内包する町公民館ホールは、テオトルが新設された後、原則立ち入り禁止状態になっています。

教育課長 アスベストを除去できないものか。建材の一部にアスベストが含まれており、倒壊しても飛散しないとは断言できない状況です。



いまだ問題の残る三公ホール

問 国の補助制度があるからという町当局からの説明が進められたテオトル建設計画は、実は国の補助金がないということ、一旦、議会で否決されましたが、その直後に別の補助金が見

町内会と行政が連携する「協働のまちづくり条例」を…

問 少子高齢化や価値観の多様化が進む状況下における自治運営の指針となる「協働のまちづくり条例」を制定する自治体が増加しています。

町長 本町でも制定すべきです。

協働のまちづくり条例は、平成の大合併で誕生した自治体が制定したものです。

本町では、町内会と行政の役割を自助・共助・公助として独自の町づくりを展開してきました。

つまり建設された経緯にあることから、後回しせず早急に整理すべきと思うが。

町長 福祉センターとの連携を求める意見などいろいろな考え方があることから、いずれ調査すべき課題と考えています。

問 平成の大合併以降、社会情勢や地域の環境も大きく変化したことから、町内会運営に対する行政支援も必要な状況です。

町長 条例の制定によって、町民へ負担を求めたり責任転嫁することとはあつてはならないこととであり、慎重な対応が必要と考えています。

況にあります。住民、自治会、行政の役割を体系的に整理するのが「協働のまちづくり条例」であり、本町にも必要であると思うが。

町長 条例の制定によって、町民へ負担を求めたり責任転嫁することとはあつてはならないこととであり、慎重な対応が必要と考えています。

これまでも、総合計画策定などにおいて町民各位との意見交換より進めてきたことから、今後とも協議により検討したいと考えています。



めざせ“協働のまち”
(千葉県袖ケ浦市のHPより)

コンソーシアムの立ち上げを

町長 現時点では考えていない



さくま ちよし 議員
佐久間 千佳

問

新たな産業や商業施設等の誘致に庄内広域で取り組むためにコンソーシアム（共同事業体）の立ち上げが重要だと考えますが。

町長

庄内地域2市3町で構成する庄内開発協議会において、遊佐町沖と酒田市沖で進められている洋上風力発電事業を契機に新たな産業形成が期待されることから、その事業を優先事項として捉えており、コンソーシアムの立ち上げは、現時点では考えていません。

問

庄内へ「コストコ」や「ラウンドワン」のような大型商業施設を誘致し、人の流れを取り戻す

施策を講じるべきでは。

企画調整課長

現在、「みかわ産業団地」の造成と企業誘致に取り組んでいますが、大型の商業施設の誘致には法の問題もあり、難しいと捉えています。



みかわ産業団地 航空写真

第4期

企業誘致に広域的な取り組みを

問

パルク赤川を中心とした、いろいろ火の里施設周辺からイオン周辺への一体的な誘客事業の創造は。

町長

賑わいの創出に向けて町有施設における効果的な活用連携については検討すべきものと考えていますが、民間事業者も含めた一体的な連携については、ニーズと効果を見定めたいと考えています。

賑わいの創造を

問

三川町70周年記念ガイドブックの「あなただけのイチオシ」をウェブ上で小中学生や高齢者など誰でも書き込みでき、町の魅力をアップデートし続けられるコンテンツにしては。

企画調整課長

町民の皆様から寄せられた写真については町のホームページに掲載するとともに、観光協会などにも素材提供をしながら活用していきます。



カヌーを体験型観光の目玉に
パルク赤川

問

また、書き込みができる仕組みについては検討したいと思います。
観光協会やみかわ振興公社との連携強化の具現化策として、「地域商社」の設立は。

町長

本町の魅力のアップデートや一体的な誘客事業について、地域商社事業として成立させるには多くの課題があり、現時点では、地域商社化については考えていません。

米不足？ 6年度の米生産は

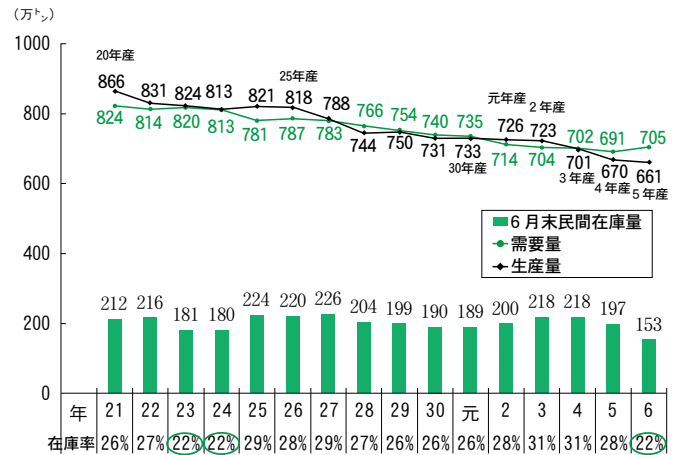
町長 県が示した目安を達成



すずき しげあき
鈴木 重行 議員

問 令和6年度産米においては水害等もありましたが、県が示した生産の目安を達成できたか。

町長 山形県農業再生協議会より示された生産の目安を基準として調整を行い、数量、面積とも提示された数値を達



最近の米の需給動向（需要量、生産量、民間在庫）
農林水産省 HP より

問 米不足とされているますが、当初の生産目標に課題はなかったか。

町長 令和6年度の生産の目安の設定については、在庫量等を勘案し、さらに、令和5年度の品質低下等による影響が考慮され、数量、面積とも前年同数となりましたが、この時点では合理的に算出されたものと認識しています。

問 令和7年度産米の生産の目安の考えは。

町長 令和7年度の生産の目安については、本県が生産の目安の達成率を高く維持していること、昨年の米不足や米価の上昇等の要因により、本県産米のシェアの復元を目指しシェア率を上昇させたことにより増加したものと捉えています。

問 投票所までの移動手段がない方など高齢者への対応の考えは。

選挙管理委員会 期日前投票を含め、投票所までの移動については、家族や近隣の方の自動車に乗り合って投票に向く方が多くいます。

デマンドタクシーを利用する方もおり、今後とも郵便投票も含め、選挙制度や移動手段について周知し投票率向上に取り組めます。

投票率向上策を

問 山形県知事選挙、三川町議会議員選挙が行われましたが、投票率は。

選挙管理委員会 県知事選挙の投票率は県全体で39・67%、本町では44・69%、町議会議員選挙では61・75%といずれも過去最低の結果でした。

問 投票率が低迷した要因をどう考えているか。

選挙管理委員会 要因としては、「無投票を避けるため」といった実質を伴わない選挙であったことや、政策の変更、重要事業の実施の是非が問われるなどの争点が少ない選挙であったことが考え



がんばってます

老人クラブ横山寿会

「友愛・奉仕・健康・生きがい」推進



横山寿会は、1959年12月に発足、三川町では最初の老人クラブの誕生といわれ今年で66年になります。地域の先輩達が築いた歴史を引き継ぎ「友愛・奉仕・健康・生きがい」の取り組みを未

来へとつなげる活動を進めています。

個々の体力に応じながら、地域内の蛾眉公園や赤川石碑緑地や愛宕神社の除草作業等を行っています。

また管理をはじめ、健康講話や毎月の例

会での多彩なレクリエーションや交流会等の取り組み、日帰り旅行・一泊研修旅行をはじめ、古希、傘寿、卒寿と90歳を超える会員の歳祝いと長寿祈願祭の開催、亡くなった会員の物故者法要など毎年実施しています。

先輩が築いた歴史を未来へ

こうした活動に加え近年は、カラ

オケやワナゲ愛好会を立ち上げ活動、会員の誕生日には役員が訪問し手製のポストカードとフラワーを届けるなど大変喜ばれています。

年を重ねると誰でも耳が遠く、目が見えにくくなったり、足腰が痛くなったり思うように参加でき

なくなりがちですが、そうした人たちにも年4回は「寿会だより」を発行し（現在No.35号）、会の活動や会員の状況を知らせるなど、一人ひとりの会員に気配りをしながら援助し、仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりを進め楽しく活動しています。

創立70周年に向けて、寿会の仲間を増やし、老人クラブに入ってよかったと思えるような取り組みをしていきたいと思っています。



老人クラブ横山寿会

会長 阿部 紘一

表紙の写真



三本木地内に新設された「ウェルネス児童クラブ」みかわ

(写真) 佐竹 優子

編集室

春風に優しく揺れる桜が微笑む中を、ワクワクとドキドキを胸いっぱい膨らませながら笑顔で学校に通う一年生の姿には、毎年のことながらほほが緩み、心に温かさを感じさせてくれます。

さて、三川町議会も2月の改選により新体制になり、広報常任委員会にも新たなメンバーを加えてのスタートとなりました。これからも、皆さんからの意見を取り入れながら作って楽しい、開いて楽しい紙面を目指していきたいと思っています。

砂田 茂



発行責任者

議長 議長 町野 昌弘
編集 広報常任委員会
委員長 砂田 茂
副委員長 鈴木 重行

委員 鈴木 淳士

委員 小野寺正樹

委員 土田 市子

委員 佐竹 優子